

一般質問

佐渡の航路改革を 求める



近藤和義 議員

本庁整備を急げ！

質問 運賃割引の社会実験は島発も実施すべき。

市長 費用を佐渡で持てるかという問題があるので今回は行わない。

質問 島外病院への通院者が多いので二等往復の割引回数券の発行を求める。

市長 発行するように佐渡汽船と交渉する。

質問 次の航路改革案について市長の見解を問う。
① 佐渡市が佐渡汽船の株を持ち経営参画する。

② 小木航路と赤泊航路を分社する。

③ 指定航路を解除して、新規の船会社の参入を図る。

④ 黒字航路は黒字分を利用者の運賃割引にあてる。

⑤ 赤字航路には国交省や総務省等の補助制度を集中的に活用するとともに、経営者・地元・佐渡市で知恵を出し合って存続・発展を目指す。

以上、航路の赤字を解消して、運賃を現行より思いきって削減することにより、佐渡島の経済の安定と発展を図れるものと確信する。市長は離島のハンディを解消するため、本気で航路改革に取り組むべきだ。

市長 議員の提案は、いずれも改革の選択肢と考える。特に運賃を軽減することにについては大賛成である。

質問 本庁舎検討委員会の結論は。

市長 当面交通アクセスの優位性と経費面から、現庁舎周辺を有効活用する。

質問 職員の待機時間や移動時間の無駄を省くとともに、議会の効率的な運営をするため、本庁に議会棟の早期整備が必要ではないか。

市長 当然、議会棟を含めて本庁舎の近辺にあった方が良いため、速やかに整備したい。

平成16年 航路別利用数及び収支

航 路	佐渡市民の利用 (発着合計)		旅 客		貨 物		航 送		収 支 (万円)	平成15年 収支 (万円)
	人 数	構成比	収入(万円)	構成比	収入(万円)	構成比	収入(万円)	構成比		
両 津	61万500	92.8	38億7800	87.9	6億7900	84.4	22億3300	75.8	5億5800	10億7400
小 木	3万7900	5.8	4億9100	11.1	5500	6.9	6億1500	20.9	▲7億9800	▲10億800
赤 泊	9200	1.4	4400	1.0	1200	1.5	9800	3.3	▲2億4800	▲2億5900
合 計	65万7600	100	44億1300	100	郵便 5800	7.2	29億4600	100	差引	差引
					合計 8億400	100			▲4億8800	▲1億9300